

「きりしまっ子」の成長のイメージ

【第二次霧島市教育振興基本計画:基本目標】

**夢を描き 高い志をもって学び続け、
共に輝く未来を創る 心豊かな人づくり**



計画の全文については、霧島市教育委員会のホームページに掲載しています。
 ホーム>市政情報>計画・プラン>教育・文化・スポーツ>第二次霧島市教育振興基本計画
 ■「第二次霧島市教育振興基本計画」についての問合せ先
 霧島市教育委員会 教育総務課 電話(代):0995-45-5111

《子どもの成長と保護者のかかわり》

家庭は全ての教育の**原点**であり、

愛情による**絆**で結ばれた場であり、

常に子どもの**心**のよりどころとなるもの(ところ)です。

保護者が愛情をいっぱい注ぎ、家庭で子どもの心の根っこをしっかりと育てることで、子どもたち一人一人が大きな木となり、立派な実を付けていってほしい。

	子どもの成長	保護者のかかわり
乳・幼児前期 (0～3歳)	安心できる親子関係の構築 <ul style="list-style-type: none"> ○ 無条件に自分を愛し保護する存在として親を信頼する。 ○ 周囲への好奇心が芽生える。 ○ 少しずつ母親から離れ、他者とかかわる。 ○ 基本的な生活習慣の基礎が身に付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 0歳から1歳くらいまでは、赤ちゃんの望んだことはすべてかなえてあげる、という気持ちで育てましょう。 ★ 身の回りのことを子ども自身がやり遂げることができる実感を体得させましょう。 ★ 親として子供と一緒に育っていきましょう。
乳・幼児後期 (4～6歳)	自発性の芽生え <ul style="list-style-type: none"> ○ 集団遊びができるようになり、対人関係能力や秩序感覚を身に付け始める。 ○ 善悪の判断基準が形成され始めるとともに、良心が芽生える。 ○ 対人関係が保てるようになり、他者への思いやりをもつことができる。 ○ 自然や生き物に興味をもつようになる。 ○ 身の回りのことが自分ででき始め、基本的な生活習慣が身に付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 社会性を身に付けさせるために基本的なしつけをしましょう。 ★ やる気を育てましょう。 ★ 子どもの自発性を伸ばしましょう。 
小学校前期 (7～9歳)	「自律」の心の芽生え <ul style="list-style-type: none"> ○ 集団の中で、役割を決めて遊ぶことができる。 ○ 他者に共感し、我慢や分け合い、交代などができる。 ○ 善悪の判断や規範意識の基礎ができる。 ○ 身辺自立ができる。 ○ 自然や生命を慈しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 積極的に運動や学習に取り組めるよう、生活リズムを整えましょう。 ★ 規範意識を育てる大切な時期であることを自覚しましょう。 ★ 子ども同士のトラブルに冷静に対応しましょう。
小学校後期 (10～12歳)	他者意識の芽生え <ul style="list-style-type: none"> ○ 他者との関係の中で、自分のことを考えたり他者への接し方を考えたりするようになる。 ○ 他者との関係の中で、善悪の判断がつく。 ○ 自分の感情や欲求を抑えることができる。 ○ トラブルを解決しようとすることができる。 ○ 失敗から学ぶことができる。 ○ 集団の中で自分の役割を意識し、責任を果たそうとする。 ○ 生き物の世話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 子どもと周りの友達との関係を支えましょう。 ★ 子どもの自己有用感(自分が必要とされていると感じる気持ち)を育てましょう。 
中学校期 (13～15歳)	自分らしさの気づき <ul style="list-style-type: none"> ○ 自意識過剰で感受性が強くなり、情緒不安定になりやすい。 ○ 他者との関係の中で自他の違いを認め、自分の特性に気付く。 ○ 自分のよさを実感したり自分の短所を自覚したりする。 ○ 仲間意識が強くなり、特定の友人と深い人間関係を築く。 ○ 異性との望ましい関係を学び始める。 ○ 自他の生命の重さが理解できる。 ○ 人間の弱さを理解し、思いやり、共感、感謝、批判、悲しみ等が言葉にできる。 ○ 社会の一員として自立した生活を営む力を身に付ける。 ○ 公共を意識して、自分の行動を抑制できる。 ○ 法やきまりの意義を理解し、公德心をもつ。 ○ 困難に対処することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 子どもの人格を認め、接するようになりましょう。 ★ 自己肯定感(自分のことが好き、自分は生きている価値があると思う気持ち)を育てましょう。 ★ 将来の夢や自己実現に向けて働きかけましょう。 
高校期 (16～18歳)	自分の個性への誇り <ul style="list-style-type: none"> ○ 思春期の混乱から脱却し、大人の社会を展望しながら生きる課題を真剣に模索し始める。 ○ 保護者から心理的に離れ、自分を客観的に見つめ、自立する。 ○ 家族や周囲との関係の中で、自分の在り方を決める。 ○ 自分らしさを見据えながら将来を描き始める。 ○ 社会人となることや親となることをイメージし始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 自立に向けて助言しましょう。 ★ 自立した一人として接しましょう。 

「かごしま家庭教育ナビ」から作表